

研究課題名	腹腔洗浄細胞診陽性胃癌に対する治療別成績の検討
所属（診療科等）	長崎大学病院 腫瘍外科
研究責任者(職名)	橋本 泰匡（助教）
研究期間	2019年12月17日～2024年12月31日
研究目的と意義	腹腔洗浄細胞診陽性の stageⅣ 胃癌に対する治療として、化学療法単独群と手術と化学療法の併用群のどちらの方が治療成績が良いのかを調べます。結果によっては、不要な手術を減じることが出来ると考えられます。
研究内容	●対象となる患者さん 2000年1月1日～2018年12月31日の間に長崎大学病院で外科的切除材料あるいは腹腔洗浄細胞診において腹腔洗浄細胞診陽性と診断され、胃切除あるいは化学療法をうけた患者さん ●利用する情報 診断名、年齢、性別、身長、体重、検査結果（血液検査、画像検査）、既往歴、手術、術後合併症、化学療法投与薬剤、病理学的診断、進行度 詳しい情報をお知りになりたい方は下記の問い合わせ先へご連絡ください ●研究方法 対象となっている症例の情報を診療録から収集します。腹腔洗浄細胞診陽性の stageⅣ 胃癌に対する治療として、化学療法単独群と手術と化学療法の併用群のどちらの方が治療成績が良いのかを調べます。
問い合わせ先	【研究担当者】 氏名：橋本 泰匡（医師） 長崎大学病院 腫瘍外科 住所：長崎市坂本1丁目7番1号 電話：095（819）7304 FAX 095（819）7306 【ご意見、苦情に関する相談窓口】（臨床研究・診療内容に関するものは除く） 苦情相談窓口：医療安全課 095（819）7616 受付時間 月～金 9:00～17:00（祝・祭日を除く）